

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 1 月 14 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100603		
法人名	森信建設 株式会社		
事業所名	グループホームなでしこ温品		
所在地	広島市東区温品5丁目7-1 (電話) 082-280-3596		
自己評価作成日	平成27年12月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100603-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年1月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

施設の運営理念「ゆったり・のんびり・ほがらかに」を前提として、お一人おひとりのその日その日の体調や気分等を配慮しながら、毎日の日課として地域への散歩にでかけ、四季を肌・目・耳・身体全体で感じて頂き、メリハリのある生活を心がけています。田園にある施設の特性を活かして、保育園を意識して散歩等外出にも心掛けています。
特に大切な食事提供は、開設当初より「地産地消」を合言葉に、県内の新鮮野菜やお米を使用しています。野菜は配達業者に地元産中心の調達をお願いし、お米は東広島市黒瀬の生産農家から玄米で直送され、その都度必要分を施設内で自家精米して提供しています。
運営の母体が建設業ですので、施設内の細かい修理はもとより、在宅の管理なども将来的に視野に入れた終の棲家として、安心安全な住まい空間を提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「ゆったり、のんびり、ほがらかに」の理念の下に、利用者のペースで毎日を楽しく過ごして頂きたいと考えている。天気の良い日には、出来るだけ散歩に出かけ、職員が考案した体を使ったレクやゲーム、歌を歌って楽しく過ごせるように工夫している。食事に関しては、玄米を精米し、こだわりの食材を用いて利用者に美味しい食事を提供したいと考えている。職員は、「利用者の笑顔を見たい」と考え、職員同士で話し合い、問題を解決しながら熱心に取り組んでいる。

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>毎日の申し送りの最後に職員全員で運営理念を唱和し、管理者、職員とも共有、実践に努めている。</p>	<p>理念「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を毎朝の申し送りで、唱和している。なお、職員会議で理念の達成度を評価している。</p>	<p>現状では、理念の達成度は話し合われているが、更なる向上を目指していただきたい。今後は、理念の下に年間行動目標を作成し、それに伴う個人目標も立てて取り組み、年度末には皆で達成度を評価し、サービス向上に努めて頂きたい。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>毎日の散歩を通し、地域の方と挨拶や会話が出来る関係を作っている。町内のお祭りや行事に出来るだけ参加し交流を行っている。</p>	<p>町内会に加入し、毎回の会議に出席し、地域の合同避難訓練にも参加している。今年度から隣接する保育園と交流するようになった。今後は、地域行事にも積極的に参加したいと考えている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>2階の会議室を地域交流室として位置付け、要望があれば使用できるよう開放している。入居者様も参加可能であれば参加し交流を行っている。地域の一時避難場所に指定されており、万一の場合は町内、保育園等からの一時避難を引き受ける事としている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>入居者様のご家族や町内役員の方、地域包括センターの職員の方、訪問看護師と意見交換、情報交換を行っている。今年度は緩和ケア認定看護師を講師に招き、終末期・看取りケアの講習会を当職員対象に行った。</p>	<p>運営推進会議は、地域代表や地域包括支援センター、訪問看護師などが出席し定期的に開催されている。出席した看護師から「終末期における心構えを学ぶ必要がある」との提案により、看護師による職員対象の「看取りケア」の講習会を行った。</p>	<p>運営推進会議には、家族の出席がない状況である。今後は、会議の議事録を家族に閲覧して会議に対する関心を持ってもらい、ホーム行事と同時開催するなど工夫して家族の参加を呼びかけ、活発な意見交換の場として頂きたい。</p>
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>運営推進会議開催の時は、地域包括支援センターの方、介護保険課へ開催と出席をお願いしている。会議の報告はその都度行っている。</p>	<p>区の介護保険課に運営推進会議の案内を毎回、送付している。地域包括支援センターと利用の相談を行い、紹介された利用者に関しては状況報告を行っている。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束のマニュアルを作成し、勉強会を開いたり日常の申し送り等で職員の意識を徹底している。玄関は防犯上、夜間のみ施錠している。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルを作成し、新人研修ではそれを用いて説明している。今のところ、全職員対象の研修はされていないが、「ベッド柵の使用」など、身体拘束に該当する事例の説明は申し送り時に行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会を実施し、職員の意識を徹底している。また、入浴時に入居者様の身体に傷やあざが無いかな観察、報告をしている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部評価にて第三者からの視点でホームをチェックして頂いたり、家族様や入居者様の話を聞いた情報を職員で共有し話し合っている。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に所定の重要事項説明や契約書、看取りの指針等を説明し、納得して頂いた上で契約頂き入居されている。又、入居後も本人様や家族様に話を伺い、不安を取り除くよう努めている。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常の申し送りで、入居者様からの話を他の職員に伝えたり、ご家族が面会に来られた時や電話等でも、意見や要望を聞き反映させている。</p>	<p>家族が来所された際に、家族の要望を聞いている。家族の意見により、各階の入りに職員の写真掲載するようにした。また、ホームの行事に関しては、家族の要望を考慮し検討している。</p>	<p>今のところ、ホーム行事に家族の参加はあるが、家族との意見交換会は行われていない。今後は家族会の設立も検討し、ホーム行事と同一日に、ホームの運営状況や介護保険などに関する説明の機会を設け、家族との意見交換を行い、更なるサービス向上につなげて頂きたい。</p>

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、代表者と毎日メールで報告、指示をうけている。朝、夕の申し送り時、職員からの提案や意見を聞き反映させている。</p>	<p>各階のフロアー会議で職員の意見を聞き、全体会議で話し合いを行っている。職員の意見により、業務内容の見直しを検討中で、入浴を午後に変更して、午前の時間を有効に活用したいと考えている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>自己評価シートを使い、管理者が職員、個々の実績や努力を把握するよう努めている。又、お互いに話が出来るといった関係を築いている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>新人が入社すると担当者をつけ、業務内容を教えたり話を聞くようにしている。又、管理者、職員を段階に応じ、研修を受ける機会を与えたり、事業所での勉強会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム協会の講習の案内を掲示し、受講を勧めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に本人の情報をまとめ、職員で共有し、入居後の対応について話し合うことで、本人との信頼関係を早く築けるよう努力している。</p>		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前までに情報提供を出来るだけして頂き、職員間で今後の対応について話し合い、入居後もスムーズに関わり、信頼関係を早く築けるよう工夫している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居希望の相談の段階で本人や家族が困っている事や、思いを伺い、サービス利用等が必要であればお話させて頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員も利用者様と一緒に食事をし、いろいろな事に共感できる時間を作るようにしている。又、日常の洗濯物たたみや食事準備など一緒に行い、暮らしを共にする関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様に変化や気付きがあれば随時ご家族に連絡、相談を行い、ご家族、職員双方で、共に支えて行く関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様やご家族に情報を聞き、大切に思っている事や人、場所との関係が途切れないよう、外泊支援等行っている。</p>	<p>今まで利用していた美容院に職員が同行し、継続して利用できるように支援している。また、今まで住んでいた家を見に行きたいとの要望は家族に連絡して、対応してもらっている。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を把握し、円滑な関係になるよう職員が橋渡しの役目をし、支え合えるよう支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス終了後も相談やアドバイスなど必要な支援を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	普段の発言や言動を把握したり、本人に直接、話を聞いたりし、希望に沿えるよう努力している。	日常の会話から得られた「思い」や「意向」は職員で共有している。利用者の得意なハーモニカ演奏をケアプランに盛り込み、皆の前で演奏するようになった事例がある。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	入居前に家族や本人に話を聞いたり、利用前の施設に情報提供を頂き、把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日のバイタル測定、食事量、言動を記録し、日々の心身状態の把握に努めている。		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族、必要な関係者から話を聞き、アセスメントを行い、ケアプランを作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、担当者がモニタリングを行っている。その後のケアカンファレンスでは、他の職員の意見も聞き、それを基にケアプラン作成者がケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の記録等を基に申し送りを行い、情報を共有している。必要に応じご家族に記録を公開し話を聞き介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人やご家族の希望に沿えるよう、職員で情報共有し、柔軟なサービスやサービスの細分化が必要ならば管理者等に随時、報告、相談を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>毎日の散歩で地域の方と顔見知りになり、声を掛けられたりホームに来られたり、畑で収穫した野菜を頂いたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週2回の主治医の往診を活用し、適切な医療を受けられるよう、必要に応じ、かかりつけ医を受診している。</p>	<p>利用者や家族の要望によりかかりつけ医を決めている。ホームの協力医をかかりつけ医としている利用者が多い。協力医は週に2回往診し、利用者の健康状態を把握している。週2回、訪問看護師も来ており、体調不良時には看護師あるいは医師に連絡し対応している。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週2回の訪問看護の時に、個々の入居者様の状況を伝え適切な看護を受けられるよう、支援し、医療記録に残している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	ご入所者のこれまでの入院病院とは常に情報交換をしている。緊急時の搬送などの受け入れを確認している。また途中入院時は、退院に向けて常に状態を把握しご家族や入所者が退院、再入所できるように努めている。また医療行為が必要な場合は、他の病院の紹介なども行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所する時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいている。ご入所後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医・看護師・管理者とご家族で、今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いている。	ホームとしては、利用者や家族の要望があれば看取りを行う方針である。入所時には「重度化に係る指針」を説明し、家族の意向を確認している。重度化した際には、家族の要望に沿い、医師と相談し対応している。看取りに関する職員研修を行った。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを作成し、定期的に訓練や勉強会を行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を定期的実施し、緊急時に対応出来るよう努めている。1階は避難が容易なので、玄関を中心に避難訓練を行っている。	年2回、避難訓練を行い、1回は、消防署立ち合いの下に、夜間を想定した訓練を行っている。その際には、実際に車いすの利用者を背負って避難誘導を行った。避難時の利用者の見守りを、今後検討したいと考えている。地域の災害時避難場所として施設が指定され、食料の備蓄を行い、地域に協力している。	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人のペースに合わせ、誇りや尊厳を傷つけない声掛けや対応に努めている。	「人格の尊重」、「プライバシー」に関する総括的な研修は行われていないが、日常の職員の行動を観察し、気になることは随時注意している。リビングに面したトイレを使用する際には、利用者のプライバシーに配慮するように指導している。	個人情報管理やプライバシーに関するマニュアルを整備し、それを利用した職員研修を行うことにより、更なるサービス向上に努めて頂きたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様に対し必要な事柄には、ご本人に問いかけ行い、選択して頂く様になっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	生活リズムは崩さないようにし、その日その時の入居者様の状況を見て、ご本人が過ごしたい様に、話を聞いたり声掛けを行い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月、訪問理美容に来て頂き支援している。又、毎日の更衣時にはご本人様と相談し、服選び等で好きな服を着て戴くようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜、果物の皮むきなど出来る範囲で準備を手伝って頂いている。食事は職員も一緒に食べ、入居者様と談話し、楽しい時間を提供できるよう努めている。	献立は、管理栄養士により予め作成されているが、利用者の要望により変更することもある。玄米を精米して使用するなど、食材にこだわり食事を提供している。野菜の下準備、食器拭きを利用者と一緒に行っている。ぜんざいなどの手作りのおやつや、時には外食をして皆で楽しんでいる。	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分、食事量は毎食、記録を行い、1日に必要な水分量の確保に強めている。栄養バランスを考えた献立を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。ご自分でできない方は、職員が支援をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄票に日々記入し、排泄の状況を分析し、トイレ誘導を行いトイレでの排泄の支援をしている。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。紙パンツから布パンツに改善した事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄票を作成し、排便状況を把握して、主治医、看護師と相談したり、水分の確保に努め、排便がスムーズになるよう取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回（夏場は3回）の入浴を行っている。その日の体調・或いは入浴の拒否がある場合には、無理をせずご本人の意思を尊重し、日を変えて入浴をしていただくよう対応している。</p>	<p>現在は、午前中に入浴しているが、通常的生活リズムを重視し、午後に入浴に変更することを検討している。入浴拒否の利用者は、その方の意思を尊重し、日時を変更している。</p>	

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人一人の体調等を把握し、生活のリズムを崩さない様につけながら、夜間も定期的に巡回し、休息、安眠が図れるように努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬剤師と相談し、服薬支援を行っている。個人ファイルに内服薬の情報を保管し、全職員にも副作用や用法等が分かるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>家事、食事を一緒に行う他、散歩等、気分転換を図っている。出来る範囲で個々の嗜好品や楽しみ事など支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>基本的に、毎日散歩に出掛けるように支援している。ご家族とも連携し、体調不良時以外は、希望あれば外出できるよう支援している。</p>	<p>天気の良い日は、出来るだけ外出するように努めている。また、今後は利用者と一緒に食材の買い出しにも行くことを検討している。花見や演劇鑑賞など年間を通して外出計画を立てている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご入所時に、金銭管理の説明をご家族を交えて行っている。金銭管理規定に沿って金庫での預かりと支出記録を行い、毎月の請求時等にはその報告を行っている。ご希望により現金が必要な時には、職員立会いで買い物や飲食などをして頂いている。</p>		

自己評価外部評価状況

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り扱いについては、入所時にご家族と話し合いを行っている。必要であれば携帯電話を所持されている。手紙の受発信は、原則自由ですが、ご家族のご意向に沿った相手先に限定している。事前に開封などは行っていません。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節を感じられる飾り付けや植物の設置をし、季節感を取り入れている。入居者様の動線に邪魔になるものが無いように配慮している。</p>	<p>室内を清潔に保つように心がけ、加湿器を導入し、適切な湿度並びに温度を保つように努めている。季節の花や季節の飾り物を作成し、掲示している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを設置し、誰でも自由にくつろげる様にし、思い思いに過ごせる空間の提供を行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には手作りのネームプレートを付け、分かり易いようにしている。ご家族、ご本人様と相談し、好みの物などを置き、居心地の良い空間作りに努めている。</p>	<p>使い慣れた枕や写経用の道具などを居室に持ってきていただき、居心地の良い空間を作るように努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各所に手摺りを設置したり、車椅子、自立、両方の方に対応できるトイレを設置したり、安全かつ自立した生活ができるよう工夫している。</p>		

Vアウトカム項目温品			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ温品

作成日 平成28年2月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の理解と達成度	理念の年間行動を職員と共に作成する	達成度を調べ個々の職員がどうすれば次のステップに行けるか考える	2か月
2	4	運営推進会議の家族の出席率が少ない	家族が参加しやすい環境作り	関心を持って貰うため議事録を公開、閲覧出来る様にする 行事と会議を同日に行う	1年
3	35	災害対策	地域協力の体制作り	避難後の見守りを自治会に協力依頼	2か月
4	36	プライバシー、人格の尊重	職員の質の向上	マニュアルを整備し職員の研修を行いサービスの向上に務める	1年
5	23	思いや意向の把握	一人一人の思いをくみ取る	日常の雑談の中の気づきをノートに記録し情報を共有する	1か月
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。